

大会名称: 第20回日・韓・中ジュニア交流競技会 バasketボール競技

開催場所: 朝鮮大学校体育館(韓国・光州広域市)

試合区分: No. 102 男子 第2戦

期 日: 2012(H24)年8月26日(日)

開始時間: 15:30

終了時間: 17:00

日本 (通算1勝1分)	○ 84	22 -1st- 17 22 -2nd- 11 21 -3rd- 15 19 -4th- 17 -OT1- -OT2- -OT3-	● 60	韓国 (通算1勝1敗)
----------------	---------	---	---------	----------------

第20回日・韓・中ジュニア交流競技会 バasketボール競技は第2戦。日本は、昨日の試合で中国から勝利を挙げた地元・光州と対戦した。序盤こそ拮抗した試合展開になるも、第1ピリオド終盤からディフェンスが機能してきた日本は、相手の得点を抑え、#12仁平の速攻などでリードを伸ばす。その後もアウェイゲームの厳しいジャッジの中、集中力を切らすことなく、着実に加点していき、試合終了。84-60、日本が終始光州を圧倒して、初白星を挙げた。

日本のスタートは、#5鈴木、#8高橋、#9川上、#14神里、#15山本。

第1ピリオド、光州ボールで試合がスタートすると、早々に#11がジャンプシュートを決めて先制する。その後も、日本は連続得点でリードを許すが、#5鈴木 of 3Pシュート、#8高橋のバスケットカウントでついていく。残り4分46秒、日本は#4河合、#6目黒、#7寺部、#10宮脇、#12仁平とオールメンバークチェンジする。すると、そこから激しいディフェンスで相手を苦しめ、#12仁平の連続得点で逆転に成功。最後は、#7寺部のリバウンドショットがブザービーターとなり、22-17と5点リードで終了。

第2ピリオド、日本は第1ピリオド同様に、ディフェンスが機能し、光州を3分間無得点に抑える。その間、日本はオフェンスも全員がよく走り、#12仁平の速攻、#10宮脇のリバウンドショット、#4河合と#6目黒のドライブで得点を重ねる。終盤には1-2-2ゾーンディフェンスから光州のミスを誘い、スティールからの連続得点を挙げる。44-28、日本が大きくリードして終了。

第3ピリオド、日本は#5鈴木、#11小原、#13白戸、#14神里、#15山本で後半に入る。光州はディフェンスをゾーンに変え巻き返しを図るが、日本は#13白戸がドライブ、スティールからの速攻と躍動し、リードをさらに広げる。ディフェンスでも全員がよく動き、カバーディフェンスで光州の攻撃を単発の3Pシュートに抑える。オフェンスでは#5鈴木 of 安定した3Pシュート、#11小原のゴール下で得点を重ねていく。65-43、日本リードのまま最終ピリオドへ。

第4ピリオド、日本の勢いは衰えず、この試合22得点の#5鈴木 of 速攻、#13白戸のドライブ、#14神里のアウトナンバーからのレイアップシュートで、相手を引き離す。その後も日本の勢いは止まらず、着実に加点していく。残り40秒、#9川上 of リバウンドショットが決まり、全員得点。84-60、日本は終始光州を圧倒し、今大会の初勝利を挙げた。

明日は、1勝1敗の中国と対戦し、勝てば参加チームの中でトップの成績となる。